

2023年度 事業報告

福井武司理事長のもと、引続き佐野春仁校長・桐浴邦夫副校長体制により学校運営・広報活動また学校外での活動を通して本校の認知度を上げる努力を行っている。

2023年新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられたことにより、政府から日常における基本的感染対策を求めることがなくなった。本校に於いても通常の活動が行えるようになったため、引き続き感染状況に配慮しながら、様々な演習・実習また行事等を計画して行った。しかしながら引続き朝と夕に机、手すり等の消毒、教室の換気などの感染対策を継続して行っている。なお、創立70周年記念式典も75周年に変更した。2020年度より始めた建築科二部に於いて仕事などで登校できない学生のため、設計製図等演習を除く、講義の**オンライン併用**。また伝統建築研究科でも遠方からの受講生にはオンラインでの受講を継続して行った。

従来同様、本校教育方針である「**建築の基礎力を身につけ、伝統や木造建築を理解し、現代に生かすことのできる建築のプロフェッショナルを育てる**」に準拠し、「**京都・伝統・木造**」を前面に出して、他校との差別化を図っている。また、前記教育方針に加え、「伝統ある建築専門学校」を全国的にアピールすることで高等学校や地域において広報活動の強化を継続する。以前にも増して、建築科の入学生に伝統や木造、大工といった学びを目指す学生が増えており、建築科では大工技能に優れた入学生も見受けられる。今後も**萌木スカラーシップ**の運用も含め、より意志を持った学生を集めることで本校の個性を強化、特性を活かした教育に磨きをかけていく。

また、**高校や建築組合との連携アップ**して本校を知ってもらうための活動を行った。なお、2023年度の建築科卒業制作木工チームでは、**京北森林組合の倉庫建設、東山五条町家改修、堀川茶室の制作、向日市古墳公園小屋の制作**のプロジェクトを行った。(一部は2024年度も引き続き行う)

2023年度卒業生57名巣立つ

建築科3名、建築科二部25名が卒業。今年度は通常どおり卒業式を挙行。卒業制作優秀作品の発表会、懇親パーティも行った。(昨年度卒業生 建築科42名、二部25名)

小規模校ならではの手作り教育

従来通り、小規模校の特性を活かし、学生と教職員が一体となって建築を学び、豊かな教養を持った社会人として巣立つことを目標に日々の学校運営を進める。授業は、建築の基礎をきめ細かく教え、二級建築士が持たなければならない知識の習得に努めた。加えて、実習・演習はもとより、各授業でも本校の特色である「**京都・伝統・木造**」を盛り込んだ授業を展開する。また、従前からの資格取得のための対策講座も開講。一人ひとりの個性を伸ばすゼミの開講、感性を伸ばし社会への適応力をつける課外活動なども積極的に進めた。さらに、学校生活に適応しにくい学生や不登校気味の学生への目配り、学力不足のための落伍者を最小限に食い止めるために、四半期毎に面談を行うとともに数学や力学の苦手科目克服の授業を開いている。

建築科の**卒業制作ゼミ**では設計2グループ、木工4グループに分かれ、それぞれ担当の先生に熟を入れて指導していただいた。その成果は2月の卒業制作展及び卒業制作発表会や卒業式にて公開された。

入学生の確保及び就職

入学生の確保

本校の教育方針を前面に掲げ、他校との差別化を図った学生募集を行ったところではあるが、結果、2023年4月の入学生は建築科では39名と昨年より6名減、建築科二部では18名で昨年より6名減となった。

(2024年4月入学生は建築科19名(20名減)、建築科二部19名(1名増)と大幅に減少。高校における大学進学率の上昇傾向が顕著である中、一層の募集の努力が求められる)

二部同様**オンライン併用**とした伝統建築研究科では前期「基礎・社寺編」19名・後期「茶室数寄屋・民家町

家編」20名であった。

入学生確保のための実施事項

1. **オープンキャンパス**を27回開催した。(2022年度は26回)
 - ・全参加者は111名 (22)115名 (21)161名 (20)141名 (19)159名 (18)176名 (17)153名)
 - ・昨年より参加者が随分少なかった。在校生を主体とする設計作品の紹介に加えて、初歩的な体験授業(木工体験、伝統建築見学体験、ミニ講義等)を行った。また、秋からは建築科二部の志願者を対象とした夜間の説明会を6回(昨年と同じ)開催した。(参加者14名、昨年参加者19名、一昨年参加者25名)
 - ・オープンキャンパスへの参加者以外に**個別訪問やリモート**での個別相談も引き続き行っている。
2. **学校案内**及び**ホームページ**には学校や学生の活動を紹介。年々インターネットからの情報の重要度は高くなっており、ホームページにはブログの他、実習授業風景や堀川茶室制作、在校生へのインタビューなどの動画により、高校生や保護者等の関心を惹きつけるようにしている。
3. 今年度は**高校訪問**を通常通り訪問した。

就職指導

1. 2023年度就職率は**96.9%**であった。(建築科 設5人施4人大工19人進学1人他3人)
近年大工希望者が増加し、施工管理希望者や設計希望者が減少している。
今後とも高い就職率が維持できるよう、就職ガイダンスや個人面談等、きめ細やかな支援体制の更なる向上を図る。
2. 2023年度も**283社**とたくさんの求人をいただいた。
(22)273社 (21)243社 (20)245社 (19)246社 (18)244社 (17)258社 (16)285社
例年どおり施工管理の求人が多く、設計・大工の求人開拓が必要である。
3. 京都の企業人、卒業生による「ミニレクチュア」を数回行い、業種の紹介・就職指導等を行った。

学校行事の実施

学園祭「建工祭」

11月3日(金・祝)～5日(日)の3日間、昨年と同じ堀川の丸太町橋下側に茶室を設置し、学園役員、市民講座会員、卒業生および在校生家族の方々、通り掛かりの方々にお茶をふるまった。14年間続いている**堀川茶室**は今や恒例の秋の風物詩になりつつある。2022年度も多くの一般人客の参加があった。その他、よしやまち校舎での餅つき(学内対象)を行った。

卒業制作発表会および展示会

2月24日(土)～2月26日(月)の3日間、『**京都府立 京都学・歴彩館**』(京都市左京区下鴨半木町)にて開催。ご父兄、卒業生等、就職先会社等、多数の方々に見ていただいた。また、2月25日(日)には同会場大ホールにて発表会を行った。また、卒業式当日には卒業制作の優秀作品を展示、発表会も行った。

資格試験対策など

1. **二級建築施工管理技術検定試験(第一次検定)対策講座**〔在校生 無料〕
昨年同様、齋藤先生が担当となり、回数も20回開講した。
 - ・開講期間 9月17日～11月8日
 - ・第一次検定試験 11月13日(日)
 - ・受験申込者19名
学校への合否通知が無くなったため合格率等把握できず(全国合格率42.3%)
(昨年合格率71.4% 全国合格率42.3%/一昨年合格率52.6% 全国合格率48.8%)
2. **二級建築士受験対策講座**〔卒業後 有料〕
 - ・学科コース、製図コースを開講し合格率UPを目指した。
 - ①学科受講者 27名 合否判明者17名 合格者10名

合格率 58.8% (全国35.0%) [昨年合格率61.5% (全国42.8%)]

(担当 計画:橋本・構造:山口・法規:永良・施工:齋藤)

②製図受講者 21名 合否判明者18名 合格者10名

合格率 55.6% (全国49.9%) [昨年合格率57.1% (全国52.5%)]

(担当:中・橋本)

3. 3D-CAD講習 [在校生は無料] (担当:山口)

授業より一段進んだ3D-CAD上級コースの学習機会を与えるため夏休み中の夜間にリモートで5回開講。今年度よりソフトを変更し、Autodesk RevitとTwinmotionというソフトを使って講習を行った。(受講者 学生26名+卒業生2名+教員2名)

京都府林・材・建青年協議会による研修セミナー

3ヶ年にわたるセミナーに参加。2020年京北合併記念の森にて伐栽、2021年製材、2022年デッキ製作、4年目は再び伐栽体験+搬出+製材の見学を行った。

市民講座

1 2月9日(土) 文化庁 文化財調査官 岡本公秀氏を迎え、対面にて京都府庁正庁で開催。

一般30名・学生7名・教員7名参加

防災士養成講座

地域防災の担い手となる「防災士」を養成する機関として京都府内で初めて認定を受け2022年度より開講。2023年度は会場を「京都府労働者総合会館」に移して開講。昨年同様たいへん好評であった。

1 0月28(土)・29日(日) 受講者71名 (うち70名試験合格)

萌木スカラシップ

本校創立50周年記念事業であるよしやまち町家校舎耐震補強整備で指導を依頼、その後も本校における伝統木造構法の教育に指導・助言を得ている「鈴木有」氏よりの寄附により、「大工技能に優れ、京都の本校にて伝統木造構法技術の学習に意欲をもつ若者」に給付する奨学金「萌木スカラシップ」。2024年度からの採用候補者を1名選定。

見学

1. 春の見学 (リトルワールド) 学生29名+引率6名 バス1台

2. 秋の見学 (神戸方面) 学生27名+引率6名 バス1台

3. 【建築科1年 伝統建築演習】上賀茂神社・大報恩寺・北野天満宮・三十三間堂・平等院鳳凰堂・大徳寺・東寺・西本願寺・仁和寺・南禅寺・岡崎界限・二条城・醍醐寺 等

4. 【近現代建築演習】新風館・京都文化博物館・佐川美術館・堅田教会・陶板名画の森・京都コンサートホール・歴彩館 等

4. その他、設計製図、施工、設備、町家ゼミ等で見学あり

高等教育の修学支援新制度について

しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学や専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省による、高等教育の修学支援新制度が2020年4月から実施され、本校も引続き対象校となる。